



浜っ子

発行 カトリック浜寺教会
高石市羽衣 2-2-27
TEL 072-261-1563
FAX 072-261-1594

2023年4月号 (2023.3.26 発行)

感染対策へのご協力 いつもありがとうございます。

“すべてはイエスのまなざしから始まる”



主の復活祭が目前に迫っています。教皇フランシスコは、イエスのまなざしを黙想して、私たちに對するイエスの慈しみと愛を見出すよう私たちに呼びかけています。復活祭は、単にイエスのご復活を祝うだけでなく、イエスとの個人的な体験に基づく福音の宣教師となるよう呼びかけているのです。

イエスは、私たちが罪、エゴイズム、不幸といった暗闇から抜け出して、イエスのうちに新しい命を見だし、同時に他の人々に愛の証人となることを求めています。このことに関連して、教皇フランシスコは、マタイの召命を紹介しています(マタイ 9:9-13)。

ご存知のように、マタイは軽蔑され、裏切り者であり、公人であった。「しかし、イエスの目には、マタイは一人の人間として映り、不幸もあれば偉大さもある。すべての人は神に愛されているからだ」。このようにキリストは、「相手が誰であろうと、愛の受け手として見るこのまなざしが、福音の情熱の始まりである。」と教えてくれる。すべてはこのまなざしから始まるのです。

教皇は私たちに、自問するよう呼びかけられます。「私たちは他者をどのように見ているのでしょうか、しばしば私たちは必要な部分ではなく、欠点を見つめます。」「イエスは憐れみと好意をもってすべての人を見ておられます。」 私たちはイエスのように学ぶことが必要です。

「私たちは完璧であることを期待すべきではない。私たちの宣教は、今日、私たちが住んでいるところから始まるのです。」 この宣教の使命は、さらに、「他人を説得しようとするところから始まるのではなく、私たちを見つめ、私たちを引き上げてくれた愛の美しさを日々証しすることから始まるのです。」

皆さん、主のご復活おめでとうございます。私たちはイエスから「立ち上がり、他者に向かう道を歩み出し、他者を求める。」ことを学びましょう。

<<トルコ南東部地震救援募金>> 受付のお知らせ

詳しくは「カトリック中央協議会」のHPをご覧ください。

郵便振替 : 00170-5-95979

加入者名 : 宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン

※記入欄に「トルコ地震」と明記してください。

ワールドユースデーへの誘い

堺ブロックチーム 春名昌哉神父

今年の7月から8月にかけて、ポルトガルの首都リスボンでワールドユースデーが開催されます。私にとっては23年前、12年前に続いて3度目のワールドユースデーとなります。

ワールドユースデーは前教皇ヨハネパウロ2世の呼びかけで1984年に始まり、それ以来、2、3年ごとに開かれてきました。毎回世界各地から、大勢の青年たちが参加します。私が参加した23年前のマニラ大会は約400～500万人、12年前のマドリード大会は約200万人が集まりました。教皇様を中心に青年たちが集まり、祈りとカテケージス、分かち合いを中心にして、交わりを深めていきます。

ワールドユースデーに参加すると世界各国の青年たちと豊かな交わりの時間を持つことができます。言葉の壁は存在しますが、同じキリスト者として信仰によって深く結ばれている、教会は一つであることを肌で感じることができました。日本ではカトリックは少数派であり、学校や職場で同じ信仰を持つ人と出会うのは極めて稀なことです。周囲に同じ信仰を持つ人が少ないことで孤独を感じたり、キリスト教的価値観と日本の価値観との違いに悩まされたりすることもあるでしょう。しかし一歩世界に出れば、国籍や民族は違っても、同じ信仰を持つ多くの仲間たちと出会うことができます。私も青年時代にワールドユースデーに参加して、多くのことを感じ学びました。

このような出会いを通して青年たちは、自らの信仰と出会い、それを深めていきます。私も2度の参加で同じことを感じました。もしマニラ大会に参加していなければ私は果たして司祭になっていたでしょうかと思います。そのときの体験が、今私が司祭として生きる原点になったと言っても過言ではないのです。それほど大きな体験を青年たちはワールドユースデーから得ることができます。堺ブロックから、大阪教区から、日本全国から次の世代の教会を担う青年たちが、一人でも多く参加してくれることを望んでいます。彼らがワールドユースデーに参加することによって、キリストに従って歩む心を、より豊かなものとすることができますように。(堺教会ニュース3月号より)

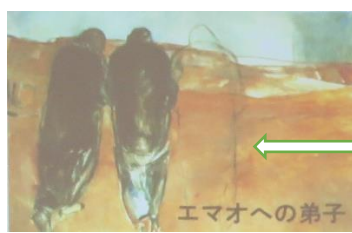
<<洗礼志願式 & 四旬節ブロック合同黙想会 3・19>>

アントニウス・ハルノコ司祭(淳心会 日本地区長)とジュアン司祭の司式で、丹生神学生もご一緒下さり、黙想会の参加者も含めた聖堂いっぱいの方々のミサの中で、復活祭に洗礼を受けられる「〇郷 〇さん」「〇藤 〇さん」の志願式が行われました。ジュアン司祭ご指導のもと、熱心に準備をされています。お二人のために、聖堂の壁に「祈りの花束」を準備しています。たくさん祈りの花を咲かせてください。***



久しぶりに大勢で聖歌も歌えて、心躍るミサ時間でした。

11時から、これまでコロナ禍で集まれなかったいずみブロックの信徒たちが、ようやく集合し、合同黙想会を開くことができました。録画ではなく、目の前で、力強く、面白く、優しくお話しくださるハル神父様のお声は、身に沁みていくような心地よさを感じました。テーマは「エマオへの道」です。



イエスは、目に見えなくてもいつもそばにいらっしやいます。



全ての人は、いつくしみある神の前で平等です。

出会い(体験)・聴く(心で感じる・HEART)・識別(実行)、思いやり・愛を持って、共に歩みを進めましょう。

<評議員退任にあたって>

カトリック浜寺教会評議会会長

H. H

入信以来、ずっと続けて参加している勉強会で、先日のテキストに次のような一文がありました。「教会の真の指導者は復活した主です。復活した主は、聖霊を通して教会の指導者を、そして、教会共同体全体を導き励まします。」

主イエスが指導者として働かれるその教会において、評議員として微力ながらも奉仕に携わって来ることができた、自身の四年間にふと思いを馳せる機会が与えられました。

副会長を拝命した2019年に、教区本部は、教区内のすべての小教区に対して、評議会規約を見直しするように通達し、同時に、各評議会は、その活動がより福音宣教に根差したものとなるようにとの指導を受けました。その二年後に会長に就任してからも、自身の頭の中には、与えられた責務には、福音宣教的に取り組んでいかねばならないとの戒めが常にありました。しかしながら、いま、実際の活動はどうであったかを思う時、未達成感が自身に重くのしかかってくるのが実情です。終わりの見えないコロナ禍によって、ともすれば教会内のつながり自体が希薄になりかねない危機と、信徒皆さんの健康被害を同時に回避することに、いつもただ腐心してきただけのような気になりがちです。

使徒たちを宣教の旅に送り出すにあたって、主イエスは、「働く者が報酬を得るのは当然である。」と言われました。いま、評議員を退任するにあたり、自身の働きを振り返る時、預かったタラントンは、埋めたままではなかったにしても、自身は決して、教会のために福音宣教に根差して「働く者」ではなかったと知っています。では、私は未達成感に苛まれる哀れな奉仕者だったのでしょうか。まったくそうではないのです。教会に来るようになって、三年も経たずに評議員となった私を、教会の皆さんは、すぐに覚え、教え、活動を支援し、不出来を許し、そして、愛してくださいました。「ご苦労様。いつもありがとう。」「元気でええな。こっちまで元気になった気がするわ。」等々の多くの言葉に、どれほど支えられたのでしょうか。「お会いできるのをいつも楽しみにしてますよ。」とお声をかけていただいたときは、耳を疑ったほどでした。また、和泉ブロック、岸和田地区の活動を通して、他小教区の兄弟姉妹とも交流でき、そこでもまた日の浅い新米信徒は愛を与えられました。皆さんに愛を与えられて初めて、未熟な信徒である私は、人のためにも祈るようになりました。会長就任時に申し上げた「身に余る重責」は、「身に余る報酬」となり、神より私に降り注がれたのです。

先のテキストにはこうあります。「聖霊の働きに信頼して、共同体はひとつに集い、今置かれている状況の中で、キリスト者として生きる道を探し求めるのです。教会共同体が常に刷新を図るのは、このためです。」コロナ禍もいよいよ収束が見えてきました。でも、また新しい危機があるかもしれません。世の中では、ニュースタンダードと言われる、新しい生活・仕事スタイル、価値観が提唱され時代の変遷が進んでいます。今評議会では、教会が昔からずっと続けて来たことを一番大切にしながら、非常事態にも対応して考える礎が築けたと自負しています。次の評議会が、今評議会の残した礎を盤石なものにし、より福音宣教に根差した活動を展開していかれることを信じています。

最後になりましたが、任期中いつも共に歩んでくださった神父様方はじめ、今評議員の皆さんに心からお礼を申し上げます。とくに、不躰で無遠慮な物言いの私をいつも理解し、献身的に支えてくださった副会長のMさん、Oさんにはどのような感謝の言葉を申し上げれば良いのかもわかりません。今評議会の皆さんに、そして、浜寺教会のすべての皆さんに、私よりも多くの恵みを神がお与えになりますようにお祈り申し上げます。

<お願い>

- 各委員会活動へのご参加をお願いいたします。年齢制限は設けておりません。ご自分のできる範囲で、ご協力をお願いいたします。各委員会又は三役へ、お声をかけてください。
- 典礼… 毎週 ミサ終了後、新しいミサの**ミサ曲の練習**を行います。掃除前の5分間、ご協力ください**ミサのための奉仕も募集**しております。(朗読・先唱・ソロ歌唱・オルガン・花活け、他)

○財務・・・ 2023 年度用の維持費袋に更新しております。番号が変更になっています。
 棚に維持費袋が見当たらなかった方、新たに維持費納入をお考えくださる方は、
 財務までお知らせください。古い維持費袋は、各自お持ち帰りくださいませ。

4月主日ミサ担当一覧	浜寺 9:30	和泉 9:30	岸和田 9:30
2日 受難の主日 枝の主日	ロペス	村田(評議会)	ジュアン
6日 聖木曜日 主の晩さん	19時 ロペス	19:30 村 田	19時 ジュアン
7日 聖金曜日 主の受難	19時 村 田	19:30 ジュアン	19時 ロペス
8日 聖土曜日 復活徹夜祭	19時 ジュアン	19:30 ロペス	19時 村 田
9日 復活の主日	村 田 11時 ポ語(イッポリト)	ロペス	ジュアン
16日 復活節第2主日	ジュアン(評議会)	ロペス	村田(評議会)
23日 復活節第3主日	ロペス	ジュアン 11時ジュアン(英語)	村 田 11時村田(英語)
30日 復活節第4主日	ジュアン	村 田	ロペス

◇毎週土曜日・・・19:30 主日前晩のミサ(和泉)・・・お休み

◇平日のミサ 浜 寺 : 火曜日(毎週)・・・9:00
 木曜日(第2, 4)・・・9:00・・・お休み
 金曜日(毎月第1)・・・9:30・・・お休み
 和 泉 : 月曜日(毎週)・・・9:00・・・お休み
 金曜日(毎月第1)・・・9:30・・・お休み
 岸 和 田 : 木曜日(毎週)・・・9:00

◇ポルトガル語ミサ 毎月第2日曜日・・・11:00(浜寺)

◇英語ミサ 毎月第3日曜日・・・11:00(和泉)・・・今月は第4 毎月第4日曜日・・・11:00(岸和田)

You Tube にて、カトリック岸和田教会の主日のミサが、9時30分より配信されています。
 「カトリック岸和田教会」で、検索ください。時間をおいても、ご覧になれます。
 ご自宅で、霊的聖体拝領としてご参加・お祈りください。

4月の掃除割り当て/共同祈願 (ご協力ください) 9日ご復活ミサ後 茶話会します！

	消 毒	聖 堂	トイレ	信徒会館	共同祈願
2日	堺	堺	高石	泉大津	評議会
6日(聖木)	有 志	有 志			
7日(聖金)	有 志	有 志			
8日(聖土)	有 志	有 志			
9日	有 志	有 志			営繕
16日	高 石	高 石	泉大津		広報
23日	泉大津	泉大津	堺		国際協力
30日	堺	堺	高石		財務